



杉田氏起用 自民からも批判

環境部会長代理 「処分せずまた使うのは…」

自民党は29日の総務会で、杉田水脈衆院議員を党環境部会長代理に充てることを正式に決めた。杉田氏は、公的機関から「人権侵犯」を認定されたばかりで、政策立案に携わるポストへの起用に与野党から批判の声が出ていた。

森山裕総務会長は同日の会見で、杉田氏の起用に「差別は断じてあってはならない」と指摘した一方、「適材適所で進めていると想う」と述べた。環境部会長代理は部会長に次ぐ立場で、党の環境政策の議論に影響力を有することになると、杉田氏が所属する安倍派幹部の萩生田光一政調会長が選んだ。

杉田氏は今月、アイヌ民族らへの差別投稿で、札幌法務局が「人権侵犯」を認定したが、会見を開き謝罪するなどの対応をしていない。過去には、同性カップルや性暴力の被害者を念頭に置いた差別的な言動で、議員の資質を問う声が与野党から噴出。岸田内閣は昨夏、杉田氏を総務政務官に起用したが、その後に事実上貢送した経緯がある。

このため野党からは、杉田氏を起用する自民を問題視する声が相次いでいる。立憲民主党の衆健太代表は同日の会見で、「それが自民の姿勢。すでに批判も上がっている」と指摘。国民民主党的玉木雄一郎代表も「要職への起用は、党として

（人権侵犯を）容認したことになる。政党の説明責任も問われる」と批判を強めた。

一方の自民内でも、杉田氏の起用には批判がある。衆院中堅は「（杉田氏を）処分せず、ほとばりが冷めたらまた使う姿勢は、党にとってよろしくない」と漏らした。

自民の茂木敏充幹事長はこれまで、杉田氏の公認を含めた次期衆院選の対応について「候補者の資質などを踏まえて適切に判断していきたい」と説明している。（中田綱子）

松川氏は副幹事長 仏写真で批判



自民党は29日、フランス研修中にエッフェル塔前で撮影した写真をSNS上に投稿して批判を受けた松川

議員について、党役員会で決まった方針などを支えることが職務で、党役員会で決まった方針などを各派閥に伝える役割などを担う。森山裕総務会長は会見で「（松川氏は）能力のある方で、選ばれたのは理解できる」と述べた。

（藤原慎一）